



## 認知症サポーターを増やすため

認知症サポーター養成講座・6/23

No.4

市内のケアマネジャーや介護職員などで構成する「キャラバン・メイト」が、市役所東城支所で「認知症サポーター養成講座」を開催し、市内の郵便局職員7人が受講しました。この講座は、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を見守る応援者「認知症サポーター」を増やす目的で行われています。

講座では、認知症の原因やその症状、支援方法についての講義や、郵便局職員が対応する可能性が高い事例として「預金を引き出したことを忘れてしまった認知症の人への対応」について、寸劇を交えて解説しました。

受講者は「寸劇が分かりやすかった。今後の業務に生かしていきたい」と話しました。



▲寸劇を観賞する郵便局職員の皆さん

## 将来の進路を考える機会に

口和中職場体験・5/30～6/3

No.6

口和中2年生が、町内9カ所の事業所に分かれて職場体験学習を行い、市役所口和支所では2人が体験を行いました。

この職場体験学習は、中学2年生が仕事の体験を通じて責任感や勤労の尊さを知り、自分の進路を考える機会とすることを目的に、毎年実施されています。

生徒は、口和郷土資料館での来場者の案内、赤ちゃんや高齢者の家庭訪問など、5日間にわたり業務を体験しました。また住民告知放送の業務では、実際に録音を行い、口和地域で放送されました。

生徒は「放送は、相手に伝わりやすいように話すことが大切だと分かった。放送を聞いた人が『良かったよ』と言ってくれてうれしかった」と話しました。



▲緊張しながら録音を行う児童

## 災害に備えて

防災訓練・5/30

No.3

高野町の下高地区の住民で組織した下高自主防災会が、大雨を想定した防災訓練を実施し、94人が参加しました。

当日は、下高地区全域に住民告知端末で避難訓練の放送を行い、地域住民が下高自治振興センターに避難するまでを想定して本格的な訓練が行われました。訓練では、消防団員が参加者を自治振興センターまで誘導。その後、市消防団高野方面隊の小原正次方面隊長が、消防団の防災活動の報告を行い、参加者は熱心に聞いていました。

同自主防災会の草谷洋事務局長は「災害がいつ起こるか分からない中、今回の訓練を参考に、人命第一でお互い助け合っていきたい」と話しました。



▲小原隊長から報告を聞く参加者の皆さん

## 立派に大きく育て

サツマイモの植え付け・5/27

No.5

総領小1、2年生が、総領自治振興区や民生委員・児童委員の皆さんと、サツマイモの苗の植え付けを行い、10人が参加しました。

児童は総領地区民生委員児童委員協議会の迫江茂幸会長指導のもと、マルチに穴を開けて、サツマイモの苗を、一本一本植えていきました。迫江会長は「しっかり土を被せていないと苗が干からびてしまうので、土の外に出てしまっている苗を見つけたら、布団をかけるように、土をかけてほしい」と児童に優しくアドバイスしていました。

その後、児童は手作りのジョウロで、水をやりながら「大きくなるように大切に育てて、焼き芋にして食べたい」と、早くも秋の収穫を楽しみにしている様子でした。



▲サツマイモの植え方を教わる児童

## 登山シーズンの到来！

比婆山山開き・5/29 2022 吾妻山山開き・6/5

No.1

新緑が増す比婆山と吾妻山で、山開きが開催されました。いずれも3年ぶりにイベントを伴っての開催となり、天気にも恵まれ、多くの人でにぎわう一日になりました。

「比婆山山開き」では、地元の人や多くの登山客が神事に参加し、町内の福祉バンドによるご当地ソングの演奏や、西城町神楽愛好会による神楽などのイベントが行われ、会場を盛り上げました。また、イザナミ茶屋のおこわやかき餅あげの販売などもあり、参加者は食も楽しみました。

主催した西城町観光協会の山口和男代表は「比婆山



▲安全を祈願する神事（比婆山山開き）

が多くの人でにぎわい、事故の無いシーズンとなるように祈っている」とあいさつしました。

「2022 吾妻山山開き」では、夏山登山の安全祈願祭が行われるとともに、初夏の草花ウォッチングが行われ、参加者は吾妻山に自生するたくさんの草花を観察しました。また、広島県無形民俗文化財の比婆斎庭神楽も披露されました。

来場者は「神話にゆかりある吾妻山の自然の中で神楽を堪能することができ、感慨深かった」とうれしそうに話しました。



▲比婆斎庭神楽を披露（吾妻山山開き）

## 庄原駅舎を飾り付け

備後庄原駅舎 七夕飾り・6/17

No.2

備後庄原駅舎で、七夕の飾り付けが行われ、三日市保育所の園児35人が参加しました。

これは、庄原駅周辺のにぎわいづくりを行っている、庄原駅周辺地区まちづくり協議会が、庄原駅の利用促進のため企画したものです。

当日は、駅舎に設置された竹に、園児が願い事を書いた短冊や、織姫と彦星の七夕飾りなどを結び付け、「たなばたさま」を合唱しました。

飾り付けを行った園児は「お父さんとお母さんの幸せをお願いした」と笑顔で話しました。

その後、年長組の園児は芸備線の列車に体験乗車し、列車からの景色を楽しんでいました。

七夕飾りは7月29日まで展示される予定です。



▲芸備線の列車に体験乗車



▲熱心に飾り付ける園児



▲「たなばたさま」を合唱